

平成 30 年 3 月 26 日
筑波大学

平成 33 年度（2021 年度）「個別学力検査等（前期日程）」等について（予告）

本学は、研究大学として、俯瞰力と専門的知識を基礎にした学際的研究を先導する人材の育成を行うため、第 2 期中期目標期間から入試改革の検討を進めてまいりました。

このたび、平成 33 年度（平成 32 年度実施）個別学力検査等（前期日程）及び推薦入試について、下記のとおり変更いたします。この入試改革を通じて、本学は、未来を力強く切り拓く人材を育成するため、細分化した専門領域の枠を越えて学び、考えることのできる、新たなリベラルアーツ教育を推進します。

1. 前期日程入試に関する変更内容

(1) 「総合選抜」の導入

入学定員の約 25%を募集人員として、文系及び理系の選抜区分（理系については、複数の区分設定を計画）による「総合選抜」を行います。この選抜によって入学された方は、1 年次にさまざまな専門分野を学修した上で自ら進むべき適切な専門を見つけ、2 年次から志望する学類・専門学群（体育専門学群は除く）に所属します。

(2) 学類・専門学群ごとの入学者選抜の名称変更

学類・専門学群ごとに実施している現在の入学者選抜を「学類・専門学群選抜」に名称変更します。この選抜によって入学された方は、従来どおり入学時に学類・専門学群に所属します。

2. 推薦入試に係る変更

従来の選抜方法による推薦入試に加え、大学入学共通テストを課す推薦入試の導入を一部の学類で検討しています。

3. 主体性を評価する選抜方法の導入

すべての入学者選抜において、調査書を活用するなど、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」の評価を加えた選抜方法の導入を検討しています。

4. その他

本学は昭和 48 年の創設当初より、世界に開かれた大学として「国際性」と「学際性」を重視し、多くの外国人留学生を受け入れてきました。今後は、一層の国際化を進め、上記の他、入学定員の一部を活用した外国人留学生に対する新たな入学者選抜を検討中です。

5. 今後の公表予定

(1) 平成 30 年 7 月下旬～8 月上旬

上記「1. 前期日程入試に関する変更内容」における (1) (2) の詳細に加え、1 年次の教育課程や、「総合選抜」によって入学した学生の 2 年次以降の学類・専門学群の選択方法等について公表します。

(2) 平成 31 年 3 月下旬

入学者選抜の具体的内容を公表します。

【本件担当】

副学長(教育担当) 清水 諭
教育推進部長 佐藤 稔晃
教育推進部入試課長 羽子田 誠

【問合せ先】

教育推進部入試課 029-853-2211

平成33年度入学者選抜（平成32年度実施）【予定】

平成30年3月現在

